

## 研究テーマ

地域・企業との連携によるビジネスキャリア教育

## 研究のねらい

- ・企業での体験的活動を通して、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることにより、生徒一人一人のキャリア発達を促す。
- ・進路決定における課題の発見、解決に向けて、主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーニングの充実を図る。

## 実施内容

## ①[職場見学の実施]

「(株)藤高」「(株)高橋ふとん店」(地域ビジネス科1学年)、「(株)テレコメディア」(商業科2学年)の職場見学を行い、電子商取引の実際の店舗運営の学習や、情報中心関連企業の現場でビジネスマナーの実践的な学習を行った。

また、地域ビジネス科2学年は、四国大学において電子商取引に必要とされる情報通信技術(コンテンツ制作や映像編集)の高度なスキルを学ぶとともに、専門分野の職業理解を深めた。



## ②[インターンシップの実施]

商業科2年生の生徒を対象として、地元企業5社で9名の生徒が様々な職種の職場体験を行い、働くことの意義や喜びを知り、職業理解を深めた。



## ③[職業人講話の実施]

講演「就職するに当たっての考え方と就職先選びのポイント」(株)高橋ふとん店社長高橋武良氏、「女性のためのキャリアアップについて」阿波野菜コンシェルジュ高井綾子氏を招き、職業人として必要とする能力や、企業の求める人材等について

講話をいただき、主体的によりよい進路選択ができるよう支援した。

## ④[活動報告会(職場見学、インターンシップ)の実施]

職場体験学習での学習成果をプレゼンテーションすることで成果の共有を図り進路意識を高めた。

## [成果]

- 製造現場の見学やインターンシップを通して「働くこと」の意義について考えることができ、勤労観・職業観が養われた。
  - 成果を学年で共有することで、自らの課題解決に向けて行動し主体的な進路選択ができるよう進路意識の高揚を図ることができた。
- さらに、企業、大学や関係機関との連携により体験的学習の充実が図れ、さらなる学習意欲の向上へとつながった。

## [課題]

- 体系的な学習体制を整え、さらなる商業科・工業科併設のメリットを活かした連携を図り、職場見学、インターンシップの充実拡大をしていきたい。

研究の  
成果と課題